

2019年度「経営系専門職大学院認証評価」の結果について

I. 経営系専門職大学院認証評価の目的

本協会の評価事業は、「会員の自主的努力と相互的援助によって、わが国における大学の質的向上を図る」（公益財団法人大学基準協会定款第3条）ことを目的としています。そして、経営系専門職大学院認証評価では、より具体的に以下の2つの目的を掲げています。

- ① 経営系専門職大学院基準の適合判定を行うことにより、当該大学院の質を社会に対して保証すること
- ② 評価結果の提示やアフターケア等を通じて、当該大学院の質の維持及び向上を継続的に支援すること

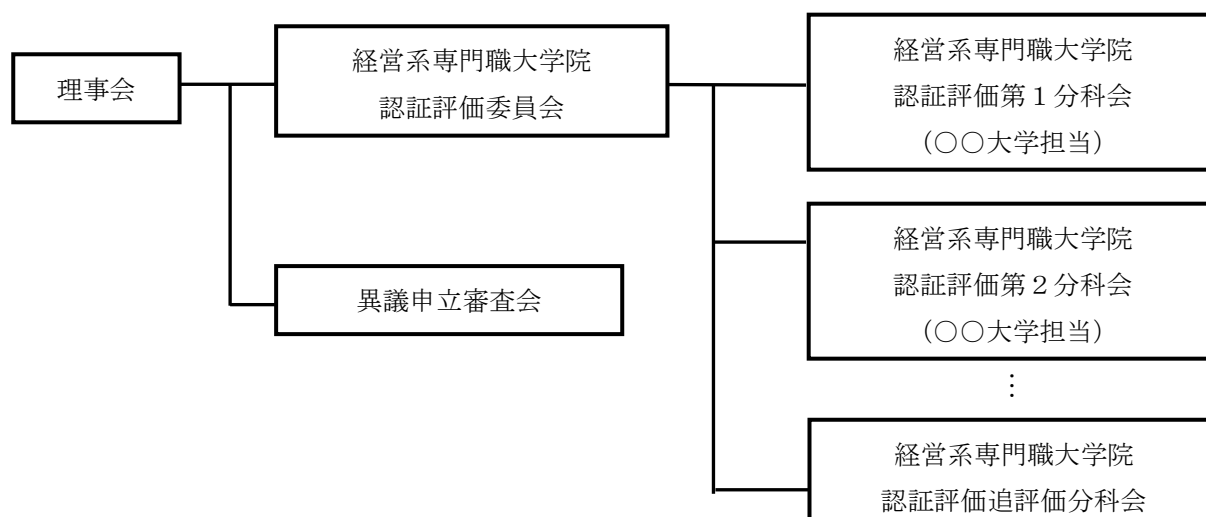
上記のような目的を果たしていくために、2008年度より経営系専門職大学院認証評価を実施してきましたが、特に①に関しては、関係法令等の遵守状況のみならず、当該大学院の固有の目的の達成に向けた活動の実施と、自己点検・評価を教育研究活動の改善に結びつけるためのシステムの整備という2点を重視しています。

なお、経営系専門職大学院認証評価の結果、経営系専門職大学院基準に適合していないと判定された大学院は、2年以内に追評価を申請することができます。この追評価は、不適合判定の原因となった問題事項の改善状況を対象とするものであり、改めて経営系専門職大学院基準に適合しているか否かを判定します。

II. 経営系専門職大学院認証評価の組織体制

本協会の経営系専門職大学院認証評価では、下掲のような組織体制が採用されています。

経営系専門職大学院認証評価組織体制図



各組織体の構成などは、表1の通りであり、いずれも経営系大学院の教員や経営系分野の実務家、外部有識者から構成されます。また、「経営系専門職大学院認証評価分科会」及び「経営系専門職大学院認証評価追評価分科会」は申請大学院ごとに設けられます。

表1：経営系専門職大学院認証評価関係会議体の構成等

組織体	人数	備考
経営系専門職大学院 認証評価委員会	20名以内	必要に応じて幹事を置くことがある。
経営系専門職大学院 認証評価分科会	原則4名	主査1名と委員3名から構成される。必要に応じて増員する場合や、オブザーバーが参加する場合もある。
経営系専門職大学院 認証評価追評価分科会	原則3名	主査1名と委員2名から構成される。必要に応じて増員する場合や、オブザーバーが参加する場合もある。

Ⅲ. 経営系専門職大学院認証評価のプロセス

1. 年間の評価プロセス

経営系専門職大学院認証評価の1年間のプロセスを時系列に取りまとめると表2のようになります。なお、追評価に関しては、問題事項の改善状況が提出資料により十分評価できると判断された場合、実地調査を省略することができます。

表2：年間の評価プロセス

経営系専門職大学院認証評価 分科会／追評価分科会	評価者研修 セミナー	評価の内容・方法や守秘義務などに関する内容の学習
	書面評価	提出資料に基づく所見の作成、主査・委員による審議
	実地調査	当該大学院での面談調査、学生インタビュー、資料閲覧、施設・設備見学
経営系専門職大学院認証評価 委員会	各分科会より提出された分科会報告書に基づく認証評価結果（委員会案）の作成、意見申立への対応、認証評価結果（案）の作成	
理事会	経営系専門職大学院認証評価委員会より提出された認証評価結果（案）の審議	

2. 提言とアフターケア

(1) 提言

認証評価結果においては、内容に応じて表3のような4種類の「提言」を付すことがあります。

ます。また、追評価の場合には、「提言」として引き続き改善に向けて取り組むべき事項が取り上げられることがあります。

表3：経営系専門職大学院認証評価結果における提言

種類	内容
長所	基本的な使命や固有の目的の達成に向けて成果・機能が認められる取組み
特色	固有の目的に即した特色ある取組み
検討課題	十分な検討と改善に向けた一層の努力が望まれる事項
勧告	早急に改善措置を講じる必要がある事項

(2) アフターケア

上記の「提言」のうち、「検討課題」及び「勧告」に関しては、認証評価の終了後に以下のような対応が求められます。

①経営系専門職大学院認証評価委員会でのプレゼンテーション

認証評価結果に「検討課題」及び「勧告」が付された場合には、それぞれの対応方法を検討し、具体的な計画を策定したうえで、本協会の経営系専門職大学院認証評価委員会に対してプレゼンテーションを行う必要があります。そして、プレゼンテーションの実施後には、出席委員との質疑応答・意見交換を通じて、より良い方策を模索していきます。

②改善報告書の提出

認証評価結果に「勧告」が付された場合には、認証評価の終了後、本協会が指定する期日までに「改善報告書」を提出する必要があります。提出された「改善報告書」は、経営系専門職大学院認証評価委員会において検討を行い、その結果は各大学に通知します。

3. 重要な変更に伴う届出

経営系専門職大学院認証評価を受けた大学院は、教育課程や教員組織等に重要な変更があった場合、当該事項を本協会に届け出ることが義務づけられています。この届出がなされた場合、経営系専門職大学院認証評価委員会は、当該大学院の意見を聞いた上で、必要に応じて認証評価結果に当該事項を付記するなどの措置を講じます。

IV. 経営系専門職大学院認証評価結果の構成

項目名	内容
認証評価結果	「経営系専門職大学院基準」への適合状況
	認定期間
総 評	評価結果の全体的な概要（当該大学院固有の目的、特色ある取組み、改善が求められる事項や今後の課題など）
経営系専門職大学院基準 の各項目における概評 及び提言	「概評」
	「提言」（「長所」、「特色」、「検討課題」、「勧告」）

※「追評価」の提言に区分はありません。

V. 2019年度の経営系専門職大学院認証評価の結果

1. 申請大学院及び適合判定

(1) 経営系専門職大学院認証評価（本評価）

設置形態	名称	判定
私立	関西学院大学大学院経営戦略研究科経営戦略専攻	適合
国立	東京工業大学環境・社会理工学院技術経営専門職学位課程	適合
国立	東京農工大学大学院工学府産業技術専攻	適合
私立	日本工業大学大学院技術経営研究科技術経営専攻	適合
私立	明治大学専門職大学院会計専門職研究科会計専門職専攻	適合
国立	山口大学大学院技術経営研究科技術経営専攻	適合
私立	早稲田大学大学院会計研究科会計専攻	適合

(2) 経営系専門職大学院認証評価（追評価）

設置形態	名称	判定
株立	ビジネス・ブレークスルー大学大学院経営学研究科経営管理専攻	適合

2. 2019年度経営系専門職大学院認証評価関係委員会等名簿

(1) 経営系専門職大学院認証評価委員会名簿

役名	氏名	所属名
委員長	藤村博之	法政大学
副委員長	横山研治	立命館アジア太平洋大学
委員	石野洋子	山口大学
委員	伊藤伸	東京農工大学
委員	王効平	北九州市立大学
委員	加登豊	同志社大学
委員	蟹江章	北海道大学
委員	後藤美香	東京工業大学
委員	斎藤聖美	ジェイ・ボンド東短証券株式会社
委員	佐藤忠彦	筑波大学
委員	佐藤智恵	日本ユニシス株式会社 社外取締役
委員	関口和一	株式会社MM総研代表取締役所長、 元日本経済新聞社論説委員
委員	高橋大志	慶應義塾大学
委員	中村博	中央大学
委員	永山治	中外製薬
委員	林昌彦	兵庫県立大学
委員	藤森義明	CVC アジア・パシフィック ジャパン株式会社
委員	南知恵子	神戸大学
委員	山田英夫	早稲田大学
委員	吉村孝司	明治大学

(2) 経営系専門職大学院認証評価分科会名簿

関西学院大学大学院経営戦略研究科経営戦略専攻

役名	氏名	所属名
主査	佐藤忠彦	筑波大学
委員	工藤一成	北九州市立大学
委員	鈴木秀一	立教大学
委員	山村能郎	明治大学

東京工業大学環境・社会理工学院技術経営専門職大学院課程

役名	氏名	所属名
主査	南知恵子	神戸大学
委員	竹之内秀行	上智大学
委員	野田稔	明治大学
委員	森田洋	横浜国立大学

東京農工大学大学院工学府産業技術専攻

役名	氏名	所属名
主査	石野洋子	山口大学
委員	小寺倫明	兵庫県立大学
委員	柴田友厚	東北大学
委員	高橋大志	慶應義塾大学

日本工業大学大学院技術経営研究科技術経営専攻

役名	氏名	所属名
主査	伊藤伸	東京農工大学
委員	稲葉和也	山口大学
委員	貝瀬徹	兵庫県立大学
委員	柴田高	東京経済大学

明治大学専門職大学院会計専門職研究科会計専門職専攻

役名	氏名	所属名
主査	蟹江章	北海道大学
委員	大西清彦	玉川大学
委員	奥村陽一	立命館大学
委員	高橋文郎	青山学院大学

山口大学大学院技術経営研究科技術経営専攻

役名	氏名	所属名
主査	後藤美香	東京工業大学
委員	王効平	北九州市立大学
委員	藏本一也	同志社大学
委員	高尾義明	首都大学東京

早稲田大学大学院会計研究科会計専攻

役名	氏名	所属名
主査	林昌彦	兵庫県立大学
委員	石島隆	法政大学
委員	籾本智之	小樽商科大学
委員	吉村孝司	明治大学

(3) 経営系専門職大学院認証評価追分科会名簿

ビジネス・ブレイクスルー大学大学院経営学研究科経営管理専攻

役名	氏名	所属名
主査	藤村博之	法政大学
委員	加登豊	同志社大学
委員	坂本正典	東京理科大学

(2020年2月26日現在)

3. 2019年度経営系専門職大学院認証評価のスケジュール

(1) 経営系専門職大学院認証評価（本評価）

2019年 ～1月末	認証評価申請書の提出
3月下旬	経営系専門職大学院認証評価委員会の開催
4月上旬	認証評価関連資料の提出
5月中旬	主査研修会の開催
～5月下旬	評価者研修セミナーの開催 分科会主査・委員に対する提出資料の送付
～7月下旬	分科会委員による評価所見作成
～8月上旬	分科会主査による所見のまとめ作成
～8月	分科会の開催
10月～11月	実地調査の実施、その後、分科会報告書の完成
11月下旬	経営系専門職大学院認証評価委員会正・副委員長会の開催
12月上旬	経営系専門職大学院認証評価委員会の開催
12月下旬	「評価結果」（委員会案）の申請大学院への送付
2020年 2月上旬	経営系専門職大学院認証評価委員会の開催
2月下旬	理事会の開催

(2) 経営系専門職大学院認証評価（追評価）

2019年 ～6月末	追評価申請書の提出
～7月下旬	評価者研修セミナーの開催
7月末	追評価関連資料の提出
～9月上旬	分科会主査・委員による評価所見作成
9月中旬	追評価分科会の開催
11月中旬	実地調査の実施、その後、分科会報告書の完成
11月下旬	経営系専門職大学院認証評価委員会正・副委員長会の開催
12月上旬	経営系専門職大学院認証評価委員会の開催
12月下旬	「追評価結果」（委員会案）の申請大学院への送付
2020年 2月上旬	経営系専門職大学院認証評価委員会の開催
2月下旬	理事会の開催